

科学・技術の普及啓発の促進のために

— 科学・技術自身の魅力を皆が知ってほしい —

つくばエキスポセンター 神田久生

情報の伝達は、発信と受信からなる。

情報の伝達量を上げるには、発信量と受信量の双方を上げる必要がある。

現状：発信量は十分多い。情報洪水の時代。

情報の受け手の入口が律速。

発信量を増やすより、受信量を増やすこと：

受信者が科学・技術に目を向けるようにすることが大事。

科学・技術に対する関心の高い社会の形成

社会に根付いた科学・技術へ。

科学・技術には“花”と“実”がある。

“花”：それ自身の魅力(楽しい、面白い、感動する)

“実”：役に立つ(時には毒も)

一般の大人は“実”をとおして科学・技術の価値を知る傾向がある。

子供のころは“花”の価値も知っているが、成長とともにその価値を認めなくなる。

→ “花”を多くの人に認めて欲しい。

→ 科学・技術に対する関心の高い社会の形成。

エキスポセンターの2階展示リニューアル計画

「夢への挑戦 — 覗いてみよう科学の最前線と未来」

大人には「明るい未来」

子供には「面白い」

核融合関係の展示を予定

・トカマクの模型

・プラズマシミュレーション映像